

## 県民の皆さんの取組状況

順不同

取組団体名	取組事例
BPW クラブ和歌山	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ イコール・ペイ・ディ広報活動(5月16日)(5名) 関係機関へのアピール訪問(和歌山県庁等)</li> <li>★ 第10回日本BPW 連合会総会・福岡大会参加(5月25日、26日)(4名) 基調講演 「私らしく働くために～ハラスメントの根絶に向けて」</li> <li>★ 近畿ブロック研究会・《ヤングスピーチコンテスト》 (10月26日)(6名+2名)</li> <li>★ 東アジア地域会議(東京・埼玉)参加(11月30日～12月2日)(1名)</li> <li>★ 例会(毎月第3土曜日 13:30～15:00) <ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年度総会(5月18日)(10+3名) 記念講演「性の多様性について語る～『ありのままの自分』で生きるために、『ありのままの自分』をつらぬくために～」 講師：倉嶋 麻里奈氏(特定非営利活動法人チーム紀伊水道 理事長)</li> <li>・日本BPW 連合会2020年総会・和歌山大会準備(6月22日)(6名)</li> <li>・他団体との意見交換会開催打合せ、日本BPW 連合会2020年総会・和歌山大会準備(7月27日)(7名)</li> <li>・卓話「和歌山市を本拠地とするアマチュアの社会人サッカークラブの誕生～活動へ」 講師：児玉 佳世子氏(アルテリーヴォ和歌山代表者(日本サッカークラブで唯一の女性GM)(和歌山クラブ会員))(8月17日)(6名)</li> <li>・日本BPW 連合会2020年総会・和歌山大会準備、他団体(連合和歌山女性委員会メンバー)との意見交換会準備打合せ(9月21日)(6名)</li> <li>・連合和歌山女性委員会メンバーとの意見交換会 テーマ「働く女性が抱える課題パートII」(10月28日)(7名+10名)</li> <li>・講演会参加 主催：和歌山県男女共同参画センターりいびる 「女性の声を届けよう！」新しい時代～どう変わる？政治と私自身～(11月16日)(6名)</li> <li>・日本BPW 連合会2020年総会・和歌山大会準備(12月21日)(6名)</li> <li>・新年度事業、和歌山大会に向けての意見交換・新年交歓会(1月18日)(7名)</li> <li>・日本BPW 連合会2020年総会・和歌山大会準備(2月15日)(2名)</li> <li>・日本BPW 連合会2020年総会・和歌山大会準備、イコールペイディ本年度の取組について、新年度事業について(3月21日)(7名)</li> </ul> </li> </ul>
GEはしもとサピュイエ	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 「思った事言えてますか？地域における男女共同参画を進めるために」男女共同参画アドバイザー派遣事業 アサーショントレーニング講座を実施(11月19日)</li> <li>★ 橋本市「まなびの日」にてブースを出展(11月24日) <ul style="list-style-type: none"> <li>・県男女共同参画センター啓発ポスター入賞作品の展示</li> <li>・女性への暴力防止啓発パープルリボンキャンペーンを実施</li> </ul> </li> </ul>

取組団体名	取組事例
GE はしもとサピュイエ (つづき)	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ デートDV防止授業 紀見北中学校2年生2クラス及び橋本中央中学校3年生3クラス</li> <li>★ 県男女共同参画センター“りいぶる”企画提案事業「より良い家族コミュニケーション～いざという時のために～サバイバルクッキング&amp;家事トーク」実施(2月8日)</li> <li>★ 女性をさえる活動 ほっとサロンの開催(11月29日、12月10日、1月22日)</li> <li>★ 例会実施(月1回) <ul style="list-style-type: none"> <li>・和歌山県DV被害者支援ネットワーク会議に参加</li> <li>・性暴力被害者支援ボランティア養成講座に参加</li> <li>・男女共同参画エキスパンダー講座に参加</li> </ul> </li> </ul>
HML (ハッピーママライフ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 御坊市教育委員会「子どもへの暴力防止」委託事業実施 御坊市内の小学生・保護者にCAPワークショップを実施</li> <li>★ 日高川町、有田市、広川町の小学校にて小学生・保護者にCAPワークショップを実施 (令和元年度CAPワークショップ参加者数241名)</li> <li>★ 児童虐待防止月間に啓発を兼ねたキフパンの販売 紀の川市パン・ド・パニエ協力</li> <li>★ にじわかキャラバン2019に協力 チーム紀伊水道とセクシャルマイノリティとその理解者をつなぐための交流会を開催</li> </ul>
ITO☆WINN	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ かつらぎ町WHP(かつらぎ町の女性による人権と平和を考える会)に参加 <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議、研修会及び理事会に代表参加</li> </ul> </li> <li>★ 啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>①笠田公民館サークル発表会(10月21日～26日)</li> <li>②かつらぎ町人権フェスティバル(11月24日) <ul style="list-style-type: none"> <li>・「雨のように降る暴力を防ぐためにみんなで傘を作ろう」をテーマに紙のパープルリボンを傘に貼り付けて展示。リボンの貼り付けに来場者も参加。</li> <li>・ポスター、男女共同参画短歌及び替え歌の展示</li> <li>・啓発チラシ、書籍の配布</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>★ 総会・定例会(毎月第4木曜日)開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の情報及び旬の出来事、それぞれ参加の講演会・研修会の情報を共有するために開催。</li> <li>ミニ学習：女性の貧困について</li> <li>ミニ学習：性暴力について</li> <li>ミニ学習：DVについて</li> <li>ミニ学習：WHP研修会報告</li> <li>ミニ学習：「子育て講演会『奇跡のそばにいること～新しい命の誕生から子育てを考えよう』(今西洋介氏)」を聞いて</li> <li>ミニ学習：男女共同参画エキスパンダー養成講座に参加しての報告</li> <li>ミニ学習：フラワーデモとは</li> <li>ミニ学習：天声人語「やまゆり学園の事件に関して」を読んで考える</li> </ul> </li> </ul> <p>※会としてレジュメ、議事録毎回発行(全員で情報共有)</p>
JA和歌山中央会	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ JA女性役員研修会の開催(8月、1泊2日) 参加者：JA女性役員28名 内容：実践報告、講義、意見交換</li> </ul>

取組団体名	取組事例
JA 和歌山中央会 (つづき)	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 県女性会と中央会・連合会役員との対話集会の開催(12月) 参加者：女性会役員他 内 容：女性会活動、JA事業他</li> <li>★ JA運営等についての学習会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県JA女性組織連絡会議において毎回開催(年4回程度)</li> <li>・JAにおける学習会開催促進</li> </ul> </li> <li>★ JAへの女性参画促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性の運営参画県域指標にもとづく参画促進</li> <li>正組合員加入：50%</li> <li>総代への就任：30%</li> <li>理事への登用：15%</li> </ul> </li> </ul>
ウィメンズスペース 花	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 定例会(学習会)の開催(月2回) DV被害者、性暴力被害者への支援に向けて</li> <li>★ 性暴力被害者支援の研修、和歌山県DV被害者支援ネットワーク会議等への出席</li> <li>★ 女性の居場所づくりのための準備・計画</li> </ul>
ウィメンスタディズ熊野	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 活動内容(活動の本拠地：新宮市) <ul style="list-style-type: none"> <li>・DV被害者支援：電話及び面接相談、関係機関への同行支援</li> <li>・デートDV防止講座：小学校・中学校・高校への講師派遣</li> <li>・DV及び児童虐待防止講演会や講座の企画及び講師派遣</li> <li>・県及び市の街頭啓発等への協力</li> <li>・関係団体とのネットワーク(勉強会、イベントへの参加)</li> </ul> </li> <li>★ DV被害者支援及び女性と子供の人権に関する講演会や講座を開催するとともに、「中学生ではもう遅い！」との要望を受け、小学校6年生に対して「デートDV防止事業～リスペクト・アザース」を実施。</li> </ul>
つばさの会・和歌山	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 映画「不思議なクニの憲法」上映会開催(6月2日) 上映実行委員会に参加。映画の上映に続いて、松井久子監督の講演会を実施</li> <li>★ 「ふれあい人権フェスタ」に出展(11月23日) 会の取り組みを紹介するパネル展示などを実施</li> <li>★ 映画「不思議なクニの憲法」上映会(第2回目)開催(1月18日) 会員向けに上映会を開催</li> </ul>
和歌山イコール会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 和歌山イコール会議 第7期(R1.10~R2.9)会員総会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・りいぶる会議室Cで開催。会員43名出席(12月1日)</li> <li>・第6期の事業・決算の報告と第7期の事業・予算の計画を承認し、役員改選を行った。</li> <li>・昼食交流会では、女性音楽家として活動しチェロ教室(和歌山市)を主宰する小高睦氏他のミニ演奏会を行った。</li> <li>・災害被災地への支援物資(タオル約300枚)を会員から集めた。</li> </ul> </li> <li>★ 総会記念事業(講演会ほか)(一般参加可)(12月5日) <ul style="list-style-type: none"> <li>「ピンチをチャンスに変える働き方」</li> <li>・第1部 基調講演「職場でこんなことないですか？」 ジェンダーギャップやジェネレーションギャップの気づき～お互いに心地よい関係づくり～ 講師 武田 由利子氏(日本経営協会専任講師、慶愛学院 代表)</li> <li>・第2部 講演「関西SDGsと貢献チャレンジ」 講師 三浦 佳子氏(近畿経済産業局国際課 課長補佐)</li> <li>・第3部 グループワーク(GW)「ピンチをチャンスに変える働き方」 コーディネーター：武田 由利子氏</li> </ul> </li> </ul>

取組団体名	取組事例
和歌山イコール会議 (つづき)	<p>★ 部会・ブロック会議</p> <p>①地域づくり部会 男女共同参画による住みやすい地域をめざして活動した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2015年に県内の1,200人に実施した「地域課題についてのアンケート調査」の結果から得た3つの柱に沿った活動の1つ地域を知ろうシリーズ5回目「有田川町へ行こう」を開催、宝来神社、あらぎ島ほかを訪ねた。(一般参加可)</li> <li>・「愛サポートで気持ちを行動につなげよう」(7月13日)を紀の川市社会福祉協議会と共催し開催した。様々な障害の特性を理解し、障害のある人に必要な配慮ができるサポーターとして活動できるよう受講した。(一般参加可、出張!県政おはなし講座を活用、48名参加)</li> <li>・災害に強い地域づくりをめざし、防災部会と連携し活動した。</li> </ul> <p>②防災部会 災害時や復興時における男女共同参画による取組が進むことをめざし活動した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害と女性の問題を考えるきっかけづくりや災害時の県内女性のネットワーク構築にむけて毎年開催している防災セミナーを、今年度は橋本市とみなべ町の2か所で開催した。</li> </ul> <p>1 「第4回 防災セミナーin 橋本」(一般参加可) 38名参加 橋本市とFWはしもと株式会社が後援、橋本市自主防災組織連絡協議会と共催し開催した。</p> <p>第1部「被災地での経験から伝えたいこと、備えてほしいこと」 講師：市場 美佐子(防災士、イコール会議 防災部会長)</p> <p>第2部「災害時のサバイバルクッキング体験&amp;試食」 講師：三國 和美(栄養士グループNAGA会長、イコール会議地域づくり部会)</p> <p>2 「第5回 防災セミナーin みなべ Part2」(一般参加可) 50名参加 地元の要請を受けて、みなべ町の後援と晩稲区自主防災会の協力のもと、同町で2回目の開催を行い、今回は整理収納アドバイザーの講演も行った。</p> <p>第1部「災害ボランティア体験談とマイ・トイレづくり」 講師：市場 美佐子、山下 真理(防災士/イコール会議防災部会員)</p> <p>第2部「災害時の調理体験&amp;試食(昼食)」講師：三國 和美</p> <p>第3部「地震に備えた食器棚の見直し&amp;防災備蓄の話」 講師：吉田 圭美氏(整理収納アドバイザー、防災士)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町婦人会の依頼を受けて「高野山婦人会100周年記念講演会」で、防災部会長(市場美佐子)が、「～令和元年、あなたは何を備えていますか～『被災地から学ぶ』」と題して講演、簡易携帯トイレ(マイ・トイレ)づくりも講習し、町議会議員や町幹部の方々を始め大勢の男女の皆さんに、防災を通じて男女共同参画について学んでいただいた。</li> <li>・部会員3名が、台風19号の被災地長野市穂保ボランティアセンターに入り、災害救援物資(イコール会議の総会時に集めたタオル約300枚)を届けた後、現地で救援ボランティア活動を行った。</li> </ul> <p>③働き方部会 男女共同参画のもとに女性が活躍できる社会・職場をめざして活動した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「一人で悩まないで仕事との両立を目指してほしい」と作成した働</li> </ul>

取組団体名	取組事例
<p>和歌山イコール会議 (つづき)</p>	<p>く女性応援リーフレットおせっかいアドバイスシリーズ3種、子育て編、介護編、保活編を引き続き関係先に配布した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第7期総会記念事業の企画運営を担当した。事業所等に研修の一環としての参加要請をしようと、初めて平日(会員総会と別日)に開催した。会員の参加は例年より若干減少したものの、仕事を持つ男女が各年代バランスよく大勢ご参加いただき、SDGsへの新たな気づきや、職場でのジェンダー問題解決にむけた熱心な話し合いなど、男女での学びの場となった。</li> </ul> <p>④子育て・介護環境部会 女性が専ら担うことが多い子育てや介護での男女共同参画をめざして活動した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・働く女性応援リーフレット(保活編)ほかの配布活動に取り組んだ。</li> <li>・SDGsについてもっと知ろうと、カードゲームによる学習会を開催した。SDGsの本質を学び、社会全体での取組の重要性を実感する機会となった。</li> </ul> <p>「世界と繋がろう! SDGsカードゲーム体験会」(一般参加可) 30名参加(8月24日) 講師:平井 研氏(2030SDGs公認ファシリテーター) 共催:NPO和歌山環境ネットワーク</p> <p>⑤暴力防止部会 女性に対する暴力の根絶をめざして活動した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・性暴力救援センター「わかやまmine」の現状と課題について、同センター支援員の奥田 美和子氏と太田 君代氏を招き学習した。</li> <li>・人権フェスタ2019(和歌山ビッグホエール)に出展、DV防止ブースを運営、女性へのあらゆる暴力の根絶を訴える「パープルリボン」を活用し、「降り続く暴力の雨が止みますように」という願いを込めた傘をつくるなど、オリジナル啓発グッズによるDVやデートDV防止啓発活動を展開した。参加型としたことで大勢のご来場をいただき、パープルリボンで埋め尽くす傘が完成した。</li> <li>・性暴力を許さない社会、誰もが安心して安全に暮らせる社会を目指して全国に広がった街頭抗議活動が最終回となる「フラワーデモ和歌山」スタンディング活動に参加した。当日は、ミモザなどの花を持ち立ち続け無言の街頭アピールを行った。(3月8日)</li> </ul> <p>⑥多様な生き方応援部会 多様な生き方や活躍を知り学ぶことによる女性のエンパワメントをめざし活動した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で活躍する女性や特色ある場所などを訪ねるフィールドワークを行い、様々な女性の生き方や地域の実情や課題を学ぶ貴重な機会をもち、頑張る勇気とパワーを頂いてきた。</li> </ul> <p>1 春のフィールドワーク 築野食品工業株式会社(代表取締役 築野富美氏)を訪ねた。400人を超える従業員への女性目線での取り組みのほか、40年にわたり「従業員の満足度向上と女性支援」に取り組まれてこられたお話をお聞きした。</p> <p>また、同町の周辺地域(高野口小学校、鎌八幡宮)を散策し、地域の課題等についても新たな気づきを得る機会となった。(4月16日)</p> <p>2 秋のフィールドワーク 初日は、NPO法人ワンちゃん会(白浜町代表 中本 宜子氏)を訪ね、犬猫の保護を中心に様々な取組をなされ、これまでに約1000頭の里親を探してきた活動をお聞きした。</p> <p>また、長くイラストレーターとして活躍されている、かわぐち せいこ氏宅をたずね作品鑑賞とインタビューをした。</p> <p>2日目には、母子生活支援施設「白浜なぎさホーム」で福祉サービスの提供について学び、続いて、白浜警察署で女性警察官2名の方に</p>

取組団体名	取組事例
和歌山イコール会議 (つづき)	<p>インタビューし、子育てと仕事の両立などについて話し合った。(10月14～15日)</p> <p>⑦地域ブロック会議 地域ごとの課題解決を目指して活動した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和歌山市内の”りいぶる”を拠点に開催される各部会は、遠方からの出席が大変なことから、会員の住居地で下記の4ブロックに分かれて、地元で話し合う「地域ブロック会議」を開催している。</li> </ul> <p>&lt;各ブロック会議の主な開催場所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和歌山ブロック：県男女共同参画センター</li> <li>・紀北ブロック：紀の川市役所7階ラウンジ</li> <li>・紀中ブロック：有田川町交流センター</li> <li>・紀南ブロック：田辺市男女共同参画センター</li> </ul> <p>&lt;活動トピックス&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和歌山ブロック：新春お茶会を開催、「中国茶のおもてなし」について、会員の津田美起子さんにお話し頂き、中国文化に精通し多方面に活躍する姿に新鮮な1年のスタートとなった。</li> <li>・紀北ブロック：紀の川市議(中村 まき氏)を迎えて、最新の紀北地域の課題を学んだ。</li> <li>・紀中ブロック：2月に開催予定だったブロック会議は、コロナ感染防止のため中止した。</li> <li>・紀南ブロック：東京大学入学式の女性副学長の祝辞の内容や、全国に広がる性暴力への抗議活動「フラワーデモ」などについて、会員で意見交換をした。</li> </ul> <p>★ その他(参加等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県男女共同参画特別公開セミナー (講師：瀬地山 角氏/東京大学大学院教授) 6/27</li> <li>・女性活躍トップセミナー (井村屋グループ株式会社 代表取締役社長 中島 伸子氏) 10/29</li> <li>・りいぶる交流会と講演会「女性の声を届けよう」 (講師：三浦 まり氏/上智大学教授) 11/16</li> <li>・和歌山市女性活躍推進講演会「女性が輝くまち」 (講師 和歌山市内企業経営者ほか) 11/17</li> <li>・和歌山大学附属中学校の取組「SDGs 研究にかかるヒアリング訪問を受けた」 12/12</li> </ul>
一般社団法人 和歌山県農業会議	<p>★ 女性農業委員・農地利用最適化推進委員登用促進に向けた各市町村農業委員会への働きかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種研修会の場において、市町村農業委員会で女性が登用されていない状況の解消、及び複数登用に向けた取組を依頼した。また、他府県の女性農業委員・農地利用最適化推進委員が活躍した事例を研修資料に掲載し、全農業委員・農地利用最適化推進委員に配付した。</li> </ul> <p>★ 令和元年度東海・近畿ブロック女性の農業委員会研修会への参画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東海・近畿各府県の農業会議等が主催する女性農業委員・農地利用最適化推進委員を対象とした研修会へ、県内の女性農業委員及び農業委員会事務局職員とともに参画した。</li> </ul> <p>★ 全国農業新聞近畿版での女性経営者優良事例の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般社団法人全国農業会議所が発行する「全国農業新聞」近畿版において、県内の優良な女性経営者の事例を紹介し、農業分野での女性の活躍推進について啓発した。</li> </ul>
わかやま楽落会	<p>★ 男女共生落語(参加者30人)</p> <p>★ 例会開催(毎月開催)</p> <p>男女共生について話し合い(参加者10人)</p>

取組団体名	取組事例
<p>特定非営利活動法人 和歌山eかんばにい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 男女共同参画推進に関わる啓発等活動事業（平成31年4/1～令和2年3/31）：「和歌山県男女共同参画センター“りいびる”一部委託事業」受託</li> <li>★ 男女共同参画推進に資する人材育成事業（参加者 26名） エンパワー・エンカレッジ研修会「“わたしを大切にすることとは？” ・【1日目：2/1】10：00～15：00（2コマ） メソッドⅠ『わたしはわたし～もっと自分を好きになろうよ～』 講師：市場 恵子（社会心理学講師・カウンセラー） ・【2日目：2/15】10：00～15：00（2コマ） メソッドⅡ『“わたし”を大切にできるコミュニケーション術♪アサーティブコミュニケーション』 講師：谷水 美香氏（ヒューマン・トータルバランスサポート「りん」と）代表 アサーティブコミュニケーショントレーナー）</li> <li>★ 人権尊重意識の更なる醸成にかかわる事業： <ul style="list-style-type: none"> <li>・「家族を紡ぐ～里親にできること～」(6/9) 講師：富松 伸六氏（和歌山県里親会会長）（参加者：28名）</li> <li>・ニュースレター発行【年1回（1回200部）】</li> </ul> </li> </ul>
<p>特定非営利活動法人 きのくに子どもNPO</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ パパの子育て支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てパパの集まり（イクメンPaPaの会）の会議を月1回定期的 に開催、パパ主催の企画を立案したり、子どもたちの遊びの企画の時 に、主体的にかかわりを持てるように準備したり「遊び」を通じて子 育てに積極的にかかわる父親を増やす活動を継続して行っている。パ パ同士のつながりが深まっている。新しいメンバーの獲得を目指し、 取り組んでいる。</li> <li>・自主企画として、海あそび・水鉄砲大会（9月）を行った。恒例の行 事になっている。自然に親しみながら、ダイナミックに遊ぶ機会とな っている。今年度はコロナウィルスの影響で予定していた3月以降 のイベントが開催できなかった。スタッフ会議を開くことも困難にな っていて、活動を継続するために工夫が必要になっている。</li> <li>・きのくに子どもNPO主催の様々な行事へスタッフとして積極的に取 り組み、「凧揚げ大会」などでコマ、ベーゴマを中心に遊びのリーダ ーとして活躍している。</li> <li>・ソフトバレーボール大会や外遊びを通じて次世代の親になる若い青 年・中高生ともつながり、世代間交流を積極的に行っている。</li> </ul> </li> <li>★ 地域子育て支援拠点事業 「ほっとルームぐるんば」の開設(和歌山市 委託事業) <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て親子の交流の場の提供と交流の促進</li> <li>・子育てコーディネーターによる子育て相談・援助の実施。地域の子育 て関連情報の提供</li> <li>・子育て及び子育て支援に関する講習等の実施</li> <li>・ぐるんばのママの会「ほっとちゃん」 ぐるんばに来ているママたちがぐるんばを親たち自分自身の居心地 の良い場所にしていけるよう自主的な活動を行っている。その中で、 育児だけでなくママ達が抱える様々な問題について、話し合いを持ち 社会と関わるきっかけとなっている。</li> <li>・ママ・パパの投稿による「TWEET」発行 ぐるんばママ講師による「小さな手づくりの会」など、子育て中のマ マをエンパワメントするための事業。</li> <li>・わらべうた、かみしばい、遊びの会、舞台鑑賞などにより、子どもが 豊かに育つために「大事なこと」を具体的に若い世代に伝えている。</li> </ul> </li> </ul>

取組団体名	取組事例
<p>特定非営利活動法人 きのくに子どもNPO (つづき)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そと遊び・水あそびを取り入れ、五感を使って自由に遊ぶ楽しさや気持ちよさを体感できるよう取り組んでいる。ネットやスマホ環境から離れて、自然の生き物との出会いや遊ぶことの大切さをママ自身にも感じてもらえるよう折に触れて伝えている。</li> <li>・コロナウィルスの影響下での3月以降の活動 3月から「つどいの広場 ほっとルームぐるんぱ」を閉所することになり、つどいの広場が地域にもっていた役割が果たせなくなった。閉所中の「つどいの広場」にはスタッフが常駐し、電話やメールで相談を受けることでしんどい思いをしている母親の支援を行った。相談は多くなっている。</li> <li>・そと遊びの会開催（幼児から小学生対象） 幼稚園、小学校が一斉に休みになり、家にもってストレスが溜まっている大人、子どもに対して少しでも息抜きができるようにと考えて行った。密にならないように気を付けながらも、たくさんの親子の利用があった。そと遊びの際に親から相談を受けることもあった。コロナウィルス対策が大きな問題となったが、どんな場合にも親と子の居場所を確保することが「子育て支援」には大切だと思った。</li> <li>★ 「ぐるんぱメール 第17号」発行 「考えていますか？防災・環境問題 今、私たちにできること～」</li> <li>・子育て中の母親が編集委員になり、テーマ設定から取材、原稿執筆、編集まですべてを行う情報紙「ぐるんぱメール 第17号」を発行し配布した。</li> <li>・作成メンバーの関係性を深めること、お互いの思いや考えを遠慮なく出し合える場にするのを心がけながら、会議、取材、編集構成に取り組んだ。その中で、自然災害に対して、自分の家族を守るだけでなく、災害と密接にかかわっている「環境問題」についても同時に考える必要があることにメンバーが気付いていき、内容の深いものが出来上がった。</li> <li>★ 和歌山市ファミリー・サポート・センター(和歌山市委託事業)</li> <li>・子育てを援助してほしい人と子育てをサポートしたい人をコーディネートし、地域で安心して子育てできるようサポートする会員組織の運営。(令和2年3月末、全会員数 1,597人)</li> <li>・病児・緊急対応強化事業 子どもの病時病後時の保育に対応している。</li> <li>・ファミリー・サポート・センターは一時保育をコーディネートする役割だけでなく、子育て家庭のセーフティネットとしての役割が大きくなっている。地域での相互援助活動の枠に入りきらない継続的援助、専門的な援助が必要なケースが増えている。行政機関や民間の支援施設等と連絡を取りながら可能な支援情報を提供するなどして、相談を受けている。</li> <li>・講習会の開催(年3回)。会員登録(スタッフ会員・提供会員・両方会員)を希望する市民に対し、子育て支援の意義や役割を理解し、具体的スキルを学ぶ講座(24時間)を実施。サポートする会員の増加に努めている。講座は、子育て中の母親の受講も増えており、受講をきっかけに仕事や社会的活動を始める人もいて、母親のエンパワメントにつながっている。</li> <li>・交流会 サポートする会員のスキルアップのため、交流会を実施。普段顔を合わせることの少ない「スタッフ会員」「提供会員」が活動内容について気になることを話したり、意見交換する機会を作っている。</li> </ul>



取組団体名	取組事例
<p>特定非営利活動法人 きのくに子どもNPO (つづき)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学習会 「なんで押しつけに来るんよ！ ～個人として認められる実感を大切に～」講師：赤松 正敏氏 子育て中の方とそれを支援したい方がよりよい子育て環境を作っていけるよう、また広く市民にファミサポを知ってもらうために学習会を開催。 子どもとのかかわり方に悩む会員の声に応じて企画。対応に難しさを感じる子どもと接することの多い仕事を持つ会員も多く、参加者からは勉強になったと好評だった。</li> <li>• 地域交流会 地域にファミサポを広め、会員同士交流できる場として「ファミサポキャラバン」を6回開催。ファミリー・サポート・センターを知ってもらい、身近に感じてもらうきっかけにもなっている。</li> <li>• 「広報誌」、「会員交流紙」、インターネットでの発信等ファミリー・サポート・センターをより多くの人に知ってもらうための広報活動を行っている。</li> <li>★ ベビーシッター「きのくにっこ」「きのくにっこ mini」 小さい子どもを持つ家庭を支援するために、必要に応じて一時的保育を提供している。 母親、女性対象の講座や勉強会、演奏会などの時の一時保育（グループシッター）を受けている。 グループシッター 16件 のべ44回実施</li> <li>★ 「養育支援訪問事業・家事援助業務」（和歌山市）「和歌山市母子家庭及び寡婦、父子家庭生活支援員派遣事業委託」を受託。支援が必要な子育て家庭に対して、支援員を派遣し、行政との協力の下に子育て家庭を支えている。支援が終了した後も、つどいの広場へつなぐなど地域での子育て支援と継続してかかわることを意識的に取り組んでいる。</li> <li>★ 児童発達支援 親と子の広場・アン、ポコ • 子どもの成長・発達に不安のある乳幼児を対象に、リズム遊びお絵かき、外遊びや散歩など遊びを楽しみながら五感（見る・聞く・触れる・におう・味わう）を刺激し、丈夫な体作りと豊かな発達を保障することを目的に活動している。保護者同士がつながりあえるよう親の会、学習会を行っている。併行通所もおこなっている。 • 保護者で実行委員会をつくり、遠足や製作、ごっこあそびなどの行事を行っている。自分たちがしたい事、子どもが楽しめることなどそれぞれが考え、会議を重ねている。みんなで作り上げたことで達成感を感じ、自信となり、エンパワメントにつながっている。 障害者支援課など行政との話し合いの場にも、保護者が積極的にかかわっている。</li> <li>★ 子どもの居場所「チャティー・もあ」 毎週土曜日に子どもの居場所を開催。絵本の読み聞かせ、読書活動、アート制作、外遊びと様々な活動を行っている。土曜日も仕事している家庭の子どもの「学童保育」としての役割も持っている。子どもたちは話し合いをしてやりたいことを決め、実行している。集団での活動が子どもたちの自主性や協調性を育てている。プレーリーダーが丁寧にかかわることで、お互いに違いを認め合い、尊重し合うことができるような集団となることをめざして活動している。</li> <li>★ 長期休暇学童保育事業 「あみはうす」 春・夏休みに家で留守番している子どもを対象に、長期休暇にしかできない遊びや集団での遊びを体験し、仲間づくりができるような学童</li> </ul>

取組団体名	取組事例
特定非営利活動法人 きのくに子どもNPO (つづき)	保育を実施。仕事で一日家を空けている保護者が安心して子どもを預けられる場を提供した。  ★ 子どもに関わる人たちの学習交流、人材育成 「幼児」、「小学生」、「中学生」と子どもの年齢別の親の会を開催。 ・小学生を持つ親の会 「思春期の身体と心について一緒に考えてみませんか？」(6月) ・幼児をもつ親の会 「子どもの成長を楽しんでいますか？」(10月)  ★ 「子どもの生活支援ネットワーク こ・はうす」 支援 特に地域で孤立しがちな「母子家庭・父子家庭」や困りごとを抱える親子の支援を「子どもの生活支援ネットワーク こはうす」と協力し、情報を共有しながら行っている。
特定非営利活動法人 のびのびキッズ海南	★ 小林 憲明氏作品展示会「ダキシメルオモイ」開催(11月2、3日) (海南市立黒江小学校 体育館) 計459名 ★ 学童保育室7カ所で実施 ★ 一時保育事業 ・県2回 ・海南市1回
一般社団法人 ガールスカウト和歌山県連盟	★ 自然体験、国際交流、ボランティア体験などを通じて、考える力、行動する勇氣、協調性、相手を思いやる心・判断力等を養い将来にあらゆる状況の時も、自分で判断し、自他の幸福を願って行動できる女性の育成 ・年代別のキャンプの実施(野外の技術習得、災害時に役立つ救急法や調理の実習) ・「ダメ。ゼッタイ。」薬物乱用防止普及活動と街頭キャンペーン参加 ・全国一斉イベント(ガールスカウトの日)を実施し、少女がガールスカウトを通じて仲間と協力して楽しみながら行うプログラムを通して、「生きる力」が身につくことを伝えた。 ・日本連盟コミュニティアクションチャレンジ100に参加。60周年の記念事業としてコミュニティにより良い変化をもたらすプロジェクトに各地域で取り組んだ。 ★ stop the violence キャンペーンに取り組む。これは2011年より世界のガールスカウトが「少女に対する暴力」をなくすグローバルアドボカシーキャンペーンのこと。このキャンペーンで強調したいのは、少女を助けるだけでなく、少女が力をつけること。 ・日本連盟の「ジェンダー×社会 SPEAK OUT!」をテーマとした事業に高校生を派遣し、その後ジェンダーによる差別と暴力が社会に与える影響を知り、問題を自分で解決する活動を継続している。 ・近畿地区の中学生が集まり「それってセクハラ？」というテーマのもと一泊で自分の身の回りのある課題について話し合い、自分のこととして意識を高めた。 ★ free being me 日本語訳では「大好きな私」キャンペーンに取り組んだ。これはガールスカウトの世界連盟と世界的なスキんケアブランドとの協働プログラムのこと。社会で形成されている作られたイメージに疑問を投げかけ、外見に対する自信のなさからいろいろなことに挑戦できない少女たちが、前向きにとらえて自己肯定感を高めるプログラムを展開した。 ・そのプログラムを指導できる指導者の育成、スキルアップのための研修会を実施。

取組団体名	取組事例
一般社団法人 ガールスカウト和歌山県連盟 (つづき)	・「メディア×社会 TAKE ACTION」をテーマにした日本連盟の事業へ高校生を派遣し、メディアによる作られたイメージで自分に自信が持てないことをなくしたいと活動を継続している。
公益社団法人 和歌山県看護協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 看護職員の定着促進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ナース相談窓口 土、日、祝日を除く毎日 看護研修センター 2,089件</li> </ul> </li> <li>★ ・ナースお仕事相談 月4回 ハローワーク和歌山・田辺 実施回数45回、延べ来所者45名</li> <li>★ 「看護の心」普及事業の実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護の日記念事業(5月6日) 講演、健康チェック、白衣体験 延べ130名</li> <li>・1日ふれあい看護体験(7月～8月) 県内高校生418名 県内病院・訪問看護ステーション55施設</li> <li>・看護の日・1日まちの保健室 県内8か所で健康チェック 816名</li> </ul> </li> <li>★ 介護・福祉施設への出前授業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者施設で看護職の交流会</li> </ul> </li> <li>★ 潜在看護職復職支援研修                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義・技術演習・病院実習・訪問看護ステーション実習 6日コース 15名(12名再就業)</li> </ul> </li> <li>★ 再就業促進研修・交流会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・復職支援コーディネーターによるナースのお仕事相談 23名</li> </ul> </li> <li>★ 看護職のワークライフバランス推進ワークショップ事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・WLB推進ワークショップ(9月20日) 看護研修センター(30名参加)</li> <li>・WLBフォローアップワークショップ(1月17日) 看護研修センター(57名参加)</li> <li>・カンゴザウルス賞贈呈(ワークライフバランスに取り組んだ施設3か所)</li> </ul> </li> <li>★ 禁煙対策の推進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界禁煙フォーラム2019、全国禁煙アドバイザー育成講習in和歌山に参加</li> </ul> </li> </ul>
一般社団法人 和歌山県助産師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 子育て・女性健康支援センター事業として下記事業を実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>電話相談</li> <li>思春期講座</li> <li>協力助産所として、電話相談、来所相談、訪問相談、メール相談</li> </ul> </li> <li>★ 和歌山県下の保健所と協働して下記事業を実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>乳幼児健康診査</li> <li>両親教室</li> <li>孫育て教室</li> <li>妊婦訪問、産婦訪問、新生児訪問、未熟児訪問、赤ちゃん訪問等</li> </ul> </li> <li>★ 委託事業「和歌山市子育て世代包括支援センター」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>和歌山市の4か所の保健センターにおいて、妊娠届出時の妊婦への面接と母子健康手帳交付、相談、情報の提供等を行った。</li> </ul> </li> <li>★ 委託事業「紀の川市子育て世代包括支援センター」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>妊娠届出時の妊婦への面接と母子健康手帳交付、産前の電話勧奨、出生時面談、相談、情報の提供等を行った。</li> </ul> </li> </ul>

取組団体名	取組事例
一般社団法人 和歌山県助産師会 (つづき)	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 育児相談の実施 紀北地区（毎月第3土曜日） 紀中地区（毎月第2金曜日） 紀南地区（毎月第2土曜日）</li> <li>★ 県主催の人権フェスタに「いいお産の日のイベント」として参加</li> </ul>
和歌山県生活研究グループ連 絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 女性農業者の積極的な経営参画に向け、各地域でリーダー研修会や経営研究会等を開催                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工技術向上研修会の開催</li> <li>・女性起業者の経営能力向上研修会等の開催</li> </ul> </li> <li>★ 機関紙の発行（年1回）</li> <li>★ 女性・高齢者グループ等の活動評価とPRのため、講演会等への積極的な参加                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・「むらとくらしを考える会議」女性・高齢者グループの生活・生産に関する表彰式、講演及び活動事例報告</li> </ul> </li> </ul> <p style="text-align: center;">参加者 約160名</p>
和歌山県母と子の健康づくり 運動協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 母子保健・健全育成住民会議の開催                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・母子保健事業を活発に推進し、保健師・保育士・母子保健推進員など子育てを支援する職種や子育て中の一般住民等の参加による大会を開催し、383名の参加があった。</li> <li>・展示パネルによる地域の母子保健推進員活動の紹介</li> <li>・地域での子育て支援の活動及び実践報告 「岩出市 母子保健推進員の活動について」</li> <li>・講演「奇跡のそばにということ～新しい命の現場からのメッセージ～」</li> </ul> </li> <li>★ 各支部（振興局単位）における活動                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・母子保健に関する研修会</li> <li>・親子教室等の開催</li> <li>・家庭訪問等の活動時に子育て支援や子供の病気、事故予防に関する啓発リーフレット等を配布</li> </ul> </li> </ul>
和歌山県婦人団体連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 子ども・地域・ふれあい事業                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代に安心を送ることを目的に、地域で子どもを育て、まもる。サポートする会員自身が活動を通して、豊かな心を育む機会と場を提供しながら様々な活動に取り組んだ。（和歌山市中之島婦人会）</li> </ul> </li> <li>★ 心とからだの健康を考えるつどい                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・元気で明るく、毎日健康的なライフスタイルを続けるため、生活習慣病などに対する正しい知識を身につける！をテーマに、有田市民会館紀文ホールにおいて、会員120人が参加し、日本ウォーキング協会公認指導員の池田ノリアキ氏から、「上半身で歩く!?逆転発想の新ウォーキング術で健康元気寿命アップ!!」と題してお話をいただいた。</li> </ul> </li> <li>★ リーダー研修会                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画の推進と地域社会における様々な課題について認識を深め、ともに学び、ともに語り合う。さらに地域婦人会として、時代に対応した活動と、より自立的な組織づくりを目的として、和歌山ビッグ愛に会員約100人が参加し、講演、子ども・地域・ふれあい事業の発表、各種事業への参加報告等を行った。</li> </ul> </li> </ul>
和歌山県和裁協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ ものづくり魅力講座                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・マスク作成 和歌山市立中之島小学校（9月5日）</li> <li>・日本手拭いを使ってあずま袋作成 和歌山市立紀伊小学校（10月8～10日）</li> </ul> </li> </ul>

取組団体名	取組事例
和歌山県和裁協会 (つづき)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本手拭いを使ってあずま袋作成と着付け体験 和歌山市立東中学校 (11月12日) 海南市立巽中学校 (12月11～13日)</li> <li>★ 紀の国わかやまもの作りフェア 幼稚園児から高校生の男女を対象に針を使ってかばんやエプロンにボタンやリボン等を縫いつけてもらった。(11月3日)</li> <li>★ 第16回老人施設訪問 綿入れちゃんちゃんこ20枚贈呈 (12月9日)</li> </ul>
ウィズ・ア・スマイル	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 子供のための性教育 講師：徳永 桂子氏</li> <li>★ 御坊市公園の東屋で交流イベント開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・忍者イベント</li> <li>・記念植樹</li> <li>・ヨガ</li> <li>・東屋おひろめ記者発表</li> <li>・身近な生き物に触れ合う会</li> </ul> </li> <li>★ 定例会実施(毎月)</li> <li>★ DV防止啓発活動 街頭啓発2回</li> <li>★ 子ども見守りネットワーク</li> <li>★ 総会や市のプロジェクト会議への参加</li> </ul>
特定非営利活動法人ホッピング	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 和歌山市地域子育て支援事業「ドレミひろば」の開設(和歌山市から受託)(通年) <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子が気軽に集える場の提供</li> <li>・子育て相談と情報交流活動</li> <li>・親子教室及び講座の開催</li> </ul> </li> <li>★ 養育支援訪問事業育児・家事援助業務(和歌山市から委託)(通年) 育児家事実施計画に基づき訪問員を対象家庭に派遣し育児援助・家事援助を行った。</li> <li>★ 女性の就労支援事業(通年) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドレミひろばでの保活相談の実施</li> <li>・働きたい女性のおしゃべり交流会の実施</li> </ul> </li> <li>★ 女性の起業支援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ママ講師®運営事業(通年) 趣味・特技を活かして日々活動されているママをホッピング登録ママ講師®として登録。ママ講師®同士の交流会や、企業への紹介、スキルアップ研修等を行った。</li> <li>・ママ講師®が運営委員となり「遊べる!学べる!癒される!『ファミリーフェスタ』」開催 日頃から子育てに奮闘するママやママを支える家族が、より「子どもと過ごす時間」と「ママのやりたいこと」のどちらも大切に生きる方を応援する機会となった。(5月19日)</li> <li>・「和歌山初上陸!起業女子プロジェクト facebook 活用セミナー」開催 和歌山でも、自分らしい生き方、働き方を選び起業する女性が増えてきている現状を踏まえ、facebook をビジネスで活用したい方に向けて学びの場を提供した。</li> </ul> </li> </ul>